



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

18号

令和元年9月8日

鹿児島大学教授来訪

鹿児島大学歯学部の西谷教授が当院の地域包括ケアシステムについて学ぶために来院されました。歯学部は、専門性を重視した教育が主で地域医療には目が向けられていないとのことでした。そして、「地域医療に目を向けている教授は少し異端児かも・・・」と笑いながら話されていましたが、「学生達にも御調のような地域包括ケアを行っている病院を見て貰いたい。」としみじみと話されておりました。是非とも、西谷教授には、歯科医師を目指している多くの学生達に当院を視察した事をもとに、患者さんの生活に目を向ける事が出来るような医療人を育てて頂きたいと思おます。



口腔機能低下症

くちの機能は、高齢となるにしたがって低下します。平成30年度診療報酬改定で口腔機能低下症の主観的・客観的7つの指標が左の表のように示されました。この中の3つが該当すると口腔機能は低下していることとなります。自分では“くちの機能”の低下はわかりにくい事ですが皆さんは、大丈夫ですか？

検査名	検査方法・機器	診断基準
1. 口腔衛生状態不良の検査	Tongue Coating Index	50%以上
2. 口腔乾燥の検査 ①口腔粘膜湿度 ②唾液量	口腔水分計 サクソテスト	27.0未満 2g/2分以下
3. 咬合力低下の検査 ①咬合圧検査 ②残存歯数	デンタルプレスケール 残根と動揺度Ⅲ	200N未満 20本未満
4. 舌口唇運動機能低下の検査	オーラルディアドコキネシス	pa/ta/ka6回未満
5. 低舌圧	舌圧測定器	30kPa未満
6. 咀嚼機能低下の検査 ①咀嚼能力検査 ②咀嚼能率スコア法	グルコセンサー 濃度測定 粉碎度を視覚資料と照合	100mg/dl未満 スコア 0・1・2
7. 嚥下機能低下の検査 ①嚥下スクリーニング検査 ②自記式質問票	EAT-10 聖隷式嚥下質問用紙	3点以上 A項目3つ以上

能低下症の主観的・客観的7つの指標が左の表のように示されました。この中の3つが該当すると口腔機能は低下していることとなります。自分では“くちの機能”の低下はわかりにくい事ですが皆さんは、大丈夫ですか？

もし、心配であれば、一度**歯科スタッフ**に相談してみてください。べろの力(舌圧)や噛む能力(咀嚼能力)は、5分程度あれば検査は可能です。

文責 診療部長

占部秀徳